

国語Ⅱ (JapaneseⅡ)		2年・通年・3単位・必修 機械, 電子制御, 情報工学科 担当 鍵本 有理 電気, 物質化学工学科 担当 鍵本 有理, 中西 潔
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
〔講義の目的〕 国語には二つの面がある。一つは、文章を読んでその登場人物の気持ちに共感できる、あるいは書いてある内容を理解するという。これにはまず受講生一人一人が人間として「生きている」ということが大切である。また、自分の心の中で「わかった」と思っている人にも人によっては伝わらない。「こういう気持ちだ」「つまりこういうことだ」と言葉で表現できて、初めて「わかった」ということになる。この二つをふまえて、「考える」「読む」「書く」「話す」ことを目指す。		
〔講義の概要〕 高等学校第2学年に相当する国語の力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、いろいろな文章を読んで様々な角度から物事を考える。そして、その内容を言葉でまとめ、ノートや文章に「形として」残していくようにする。 週3時間のうち、2時間を現代文、1時間を古典(古文・漢文)の時間に当てる。		
〔履修上の留意点〕 まず授業を「聞く」こと。授業中の発問を自分で考え、その過程を残した「わかる」ノートを作ることも必要である。また漢字や語句についての課題を出すので、必ずすませておくこと。 古典については毎時間、予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておくことよい。そして、意味がわからないと思ったら授業で集中して聞くようにするとよく理解できる。		
〔到達目標〕 前期中間試験: 1) 基本的な漢字や語句、本についての知識を身につける、2) 論理的な文章の構成がつかめる、3) 小説の登場人物の心情を読みとることができる、4) 古文を正確に音読できる、5) 古文の内容を現代語でまとめたり表現することができる 前期末試験: 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 小説の登場人物の心情を読みとることができる、3) 文学作品を鑑賞して話し合ったことや、評論文を読んで自己の生活とあわせて考えたことをまとめることができる、4) 漢文訓読の知識を身につける、5) 漢文の内容を正確に現代語で表現できる 後期中間試験: 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 小説の登場人物の心情を読みとることができる、3) 論理的な文章の要旨を把握することができる、4) 古典作品の書かれた時代について知り、主題を理解する、5) 手紙についての知識を身につける 学年末試験: 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 小説の登場人物の心情を読みとることができる、3) 近代文学の知識を身につける、4) 古典常識について理解し、古文の内容を正確に現代語で表現できる、5) 古典の敬語について理解する		
〔評価方法〕 定期試験成績(65%)を基本とし、これに課題提出(20%)、授業中の音読・発表等の態度や漢字テスト(15%)を加えて総合的に評価を行う。		
〔教科書〕 「新 精選現代文1」明治書院、「新 精選古典」明治書院 〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧」第一学習社、「高校漢字必携」第一学習社、補助教材配布プリント		
〔関連科目・学習指針〕 国語は全ての科目の基礎といえる。歴史や倫理学だけでなく英語の勉強、各科目のレポート作成、数学の論理的思考とも関連するので留意すること。		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価
第1週	ガイドダンス・国語力について 「十訓抄」	本科目の概要を理解する。国語力について考え、本についての基礎知識を学ぶ。ノートの取り方の説明。「文字一つ返し」を読み、話のおもしろさを理解する。	
第2週	「心の鉱脈」 「今昔物語集」	教科書の評論文について考える。文章の構成に注意しながら評論文を読む。「玄象といふ琵琶……」を読み、古典の文体に親しみ、あらすじを理解する。	
第3週	「心の鉱脈」 「徒然草」	評論文を読み、論旨を的確にとらえる。「玄象といふ琵琶……」を読み、内容を讀みとる。	
第4週	「山月記」(中島敦) 「竹取物語」	小説の作者について知る。文体を味わい、主人公の人物像を理解する。「竹取物語」について、1年次に習ったことを復習し、あらすじを理解する。	
第5週	「山月記」 「竹取物語」	表現に注意しながら登場人物の心情を讀みとる。「かぐや姫の昇天」を読み、内容を理解する。	
第6週	「山月記」 「竹取物語」	表現に注意しながら各登場人物の心情を的確にとらえる。「かぐや姫の昇天」を読み、登場人物の心情を讀みとる。	
第7週	「山月記」 「竹取物語」	小説全体の構成や主題を確かめる。「かぐや姫の昇天」を読み、物語の主題について考える。	
第8週	中間試験解説／新聞を使って① 前期中間試験解説／漢文の基本	教科書の評論「思想と向き合う」に関連する新聞記事を読む。漢文の基礎知識について、1年次に習ったことを復習する。	
第9週	新聞を使って② 「故事・逸話」	新聞記事を利用して、自分の考えをまとめる。「漱石枕流」を読み、書き下し文や重要句形の知識を身につける。	
第10週	「城の崎にて」(志賀直哉) 「故事・逸話」	小説の作者について知る。語りの主体に注意しながら、小説を読む。「推敲」を読み、重要句形を理解し、内容を讀みとる。	
第11週	「城の崎にて」 『史記』より「鴻門の会」	小説を読み、主人公の心情を的確にとらえる。作者司馬遷、また当時の中国の時代状況について知る。	
第12週	「城の崎にて」／夏休み課題説明 「鴻門の会」	小説を読み、表現に注意しながら人物の心情を的確にとらえる。「鴻門の会」を読み、登場人物の状況を読みとる。	
第13週	課題テスト／詩を読む① 「鴻門の会」	教科書に載っている詩を読み、自分の好きな詩について考える。「鴻門の会」を読み、登場人物の状況を読みとる。	
第14週	詩を読む② 「鴻門の会」	萩原朔太郎・宮沢賢治・谷川俊太郎・井坂洋子について知る。「鴻門の会」を読み、登場する人物像について考える。	
第15週	詩を読む③ 「鴻門の会」	萩原朔太郎・宮沢賢治・谷川俊太郎・井坂洋子の詩について、鑑賞しまとめる。夏休みの課題を利用し、「鴻門の会」の内容を理解する。	
前期期末試験			
第16週	試験解説／ことばについて 試験解説／「方丈記」	普段何気なく使っている現代日本語について考える。「方丈記」について、文学史の知識を身につける。	
第17週	「パパーシュカ」 「方丈記」	小説を読み、主人公の「語り」に注意して内容を理解する。「ゆく河の流れ」を読み、そこに込められた主題を把握する。	
第18週	「パパーシュカ」 「方丈記」	小説を読み、表現に注意しながら、登場人物の心情を讀みとる。「閑居の気味」を読み、作者の心情を讀みとる。	
第19週	「パパーシュカ」 「方丈記」	小説を読み、登場人物の心情を讀み取り、小説の主題について考える。「閑居の気味」を読み、作品の主題を理解する。	
第20週	「山の便り」(手紙の書き方) 「徒然草」	秋季社会工場見学先への礼状を作成し、縦書・横書の手紙の形式や用語を学ぶ。「徒然草」について、文学史の知識を身につける。	
第21週	『である』ことと『する』こと 「徒然草」	評論を読み、構成や論の展開方法を理解する。「城陸奥守泰盛は」を読み、内容を理解する。	
第22週	『である』ことと『する』こと 「徒然草」	評論を読み、語句や表現に注意して、内容を讀みとる。「よき細工は」「世に語り伝ふること」を読み、内容を理解する。	
第23週	『である』ことと『する』こと 「徒然草」	評論を読み、筆者の主張を理解し、まとめる。「世に語り伝ふること」を読み、筆者の主張を理解する。	
第24週	中間試験解説／夏目漱石 中間試験解説／「源氏物語」	「こころ」読解の準備として、夏目漱石について知る。「源氏物語」に関する知識を身につける。	
第25週	「こころ」 「源氏物語」	作品のあらすじを理解する。「光源氏誕生」を読み、内容を理解する。	
第26週	「こころ」／短歌・俳句大会 「源氏物語」	小説を読み、登場人物の心情を的確にとらえる。短歌や俳句に親しむ。「光源氏誕生」を読み、登場人物のおかれた状況を理解する。	
第27週	「こころ」 「源氏物語」	小説を読み、表現に注意しながら登場人物の心情を讀みとる。「小柴垣のもと」を読み、古典の敬語(尊敬語)について理解する。	
第28週	「こころ」 「源氏物語」	小説を読み、表現に注意しながら登場人物の心情を讀みとる。「小柴垣のもと」を読み、古典の敬語(謙讓語)について理解する。	
第29週	「こころ」 「源氏物語」	小説を読み、表現に注意しながら登場人物の心情を讀みとる。「小柴垣のもと」を読み、登場人物の心情を理解する。	
第30週	「こころ」 「源氏物語」	小説全体の構成と主題を確認する。「小柴垣のもと」を読み、源氏物語についての知識を整理する。	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。